

施策番号	0805		
施策名	地域の特性に応じた商業振興		
概要	京都ならではの「華やかな都市のにぎわい」を創出することを目指し、地域の魅力を高める商店街づくりや環境への負荷の低減、次代を担う商業者の育成、都心商業地域の活性化等に寄与する取組等を推進する。		
担当局・部室	産業観光局・地域企業イノベーション推進室	共管局・部室	
上位政策	8 産業・商業		
施策に関する主な分野別計画等	京都市産業戦略ビジョン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	市内の空き店舗率（％）	b	c	8.87	9.12	5.68	39.4％	d	1.00
2	商店街組織に加入している商店の割合（％）	a	a	79.12	76.88	89.39	86.0％	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		a	b					b	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	京都の商業は盛んで楽しく買い物ができ、元気な商業者が多い。	b	b	75 11.2%	237 35.5%	241 36.1%	82 12.3%	32 4.8%	667	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		b	b							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	A	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	☒ 客観指標	本市は、市内小売業全体販売額に占める中小小売店舗の販売額のシェアが高く、中小小売店舗の状況をよく反映している客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えため				
	☐ 市民の実感					

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・商店街等が実施するアーケードや街路灯等のハード整備や、地域の魅力を高めるイベント等のソフト事業、感染症予防対策に対して支援を行い、市内の商店街等の活性化を図る。また、地域コミュニティの核となっている商店街の維持と地域の絆を強化する取組を支援する。

施策名	0805	地域の特性に応じた商業振興
-----	------	---------------

指標名	市内の空き店舗率（％）
-----	-------------

担当課	地域企業イノベーション推進室	連絡先	２２２－３３４０
-----	----------------	-----	----------

1 指標の説明
商店数に空き店舗数を足した数に占める空き店舗数の割合

2 指標の意味	3 算出方法・出典等
商業の活性化状況を示す指標	出典：事業担当課調べ

4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	8.87	9.12	0.25ポイント減	5.68	中長期目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成21年度現況値（11.5％）と目標数値（令和2年度5.1％）から各年度の目標数値を等差的に算出	39.4%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	5.1	令和2年度	21.2％	調査により把握している過去最少の数値（平成11年度調査）	

5 評価基準	6 基準説明	7 評価結果
最新数値の目標値に対する達成度が a：80％以上 b：60％以上～80％未満 c：40％以上～60％未満 d：20％以上～40％未満 e：20％未満	当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高いことや景気動向にも影響を受けるため、80％以上をa、以下20％刻みで基準を設定した。	平成30 令和元 令和2 b c d

指標名	商店街組織に加入している商店の割合（％）
-----	----------------------

担当課	地域企業イノベーション推進室	連絡先	２２２－３３４０
-----	----------------	-----	----------

1 指標の説明
総店舗数に占める商店街組織に加入している店舗の割合

2 指標の意味	3 算出方法・出典等
京都の商業の活性化に向けた商店街の振興状況を示す指標	出典：事業担当課調べ

4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	79.12	76.88	2.24ポイント減	89.39	中長期目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成21年度現況値（83.3％）と目標数値（令和2年度90.0％）から各年度の目標数値を等差的に算出	86.0%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	90.0	令和2年度	85.4％	事業担当課で設定	

5 評価基準	6 基準説明	7 評価結果
最新数値の目標値に対する達成度が a：80％以上 b：60％以上～80％未満 c：40％以上～60％未満 d：20％以上～40％未満 e：20％未満	当該指標については、民間部門の寄与度が比較的高いことから、80％以上をa、以下20％刻みで基準を設定した。	平成30 令和元 令和2 a a a